中学生職場体験学習

実社会で生きて働く資質や能力を育むために、本年度も市立中学校全校で地域による職場体験学習を実施しています。各事業所の皆様には、中学生の受け入れについて、ご協力いただき感謝申し上げます。

職場体験学習は、市立中学校の2年生が数名のグループに分かれて、地域の商店や地元産業、民間企業、公的施設等の職場で、3日間、実際の仕事を体験します。緊張の1日目、仕事を覚える2日目、慣れる・考える3日目と3日間実施することにより、仕事の楽しさや大切さ、厳しさ、やりがいなどを体験します。

各学校では、事前に職業調べや基本的なマナー等について学習しています。また、職場体験学習当日は、校内における授業は行わず事業所における体験に集中することができるよう時間割を作成しています。

体験した生徒からは、「人との接し方を学ぶことができた」「事業所の皆さんがいつでも笑顔を絶やさず仕事に向かう姿勢にとても感動した」、「お客様に感謝の声をかけてもらってやりがいを感じた」、「働くことの大変さを実感した」などの声が聞かれました。

スーパーで体験する中学生

【体験例】

スーパーマーケット

○体験内容

1日目
- 仕事内容や商品についての説明
- 挨拶の練習
- 店内の清掃

2日目
- 市場で仕入れ
- 開店準備
- 決められた仕事の補助（販売、商品の品出し・袋詰め、店内の清掃等）

3日目
- 決められた仕事の補助
- 仕事に関する生徒の質問
- 3日間のお礼

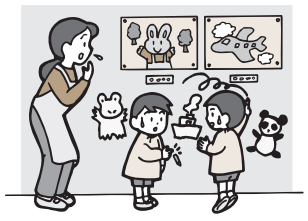
市内保育園

○体験内容

1日目
- 仕事内容や園児との接し方についての説明
- 飾りやおもちゃ作り
- 園内の清掃

2日目
- 決められた仕事の補助（園児と遊ぶ、昼寝の介助、園内の清掃等）
- 明日の予定の確認

3日目
- 決められた仕事の補助
- 3日間のお礼



◆教育指導課　042（438）4075

放課後子供教室を実施しています

教育委員会では、学校施設開放運営協議会に委託して、市立小学校全校で従前の「学校施設開放（遊び場開放）事業」を平成24年度から「学校施設開放（放課後子供教室）事業」に名称を変更し実施しています。

この事業は、地域住民の皆様の協力を得て、地域の子どもたちの安全・安心な活動拠点及び居場所の確保と、子どもたちへの様々な体験、交流及び学習活動の機会の提供を目的としています。

平成24年度からは、東小学校と住吉小学校で「自由遊び（旧遊び場開放）」に加え、「学習活動の機会提供」が始まりました。

学習活動の内容は、各小学校でさまざまです。東小学校では、ペーパーフラワーなどの工作教室、ドッジボール教室など、住吉小学校では、特別教室などで手話教室、英会話教室、ダンス教室などを実施してきました。

自由遊び（住吉小学校）

平成25年2月に実施したアンケート調査では、参加児童からは、「おもしろかった」、「水曜日以外にもやってもらいたい」、「ずっと友達といれてうれしかった」との参加児童の声や、保護者からは、「授業とは違った体験が出来ることから、良い機会だと思う」、「子どもがとても楽しみにしている」、「引き続き実施してほしい」といった声をいただいております。

今年度は10月から、芝久保小学校でも「学習活動の機会提供」が始まり、音楽教室や英会話教室を実施しています。

今後も、各学校・地域住民の皆様と連携を図りながら放課後子供教室を推進していきます。

ぶどうの樹作り（東小学校）

◆社会教育課　042（438）4079

シリーズ 西東京市文化財 幕末の洋式小銃（市文化財第49号）

向台町二丁目の個人所蔵の洋式小銃です。銃身長が約1mあります。

1853（嘉永6）年、幕末のペリー来航をきっかけとして、日本が開国したことによって、アメリカを始め、イギリス・フランスなどの列強の軍事力の脅威にさらされ、日本国内は尊王攘夷論、公武合体論など混乱と動乱にありました。薩摩藩が1863（文久3）年の薩英戦争後に行った軍政改革で、日本で初めてミニエ銃の一種で、弾を口から込める型の前装式の施条式（ライフル）銃、エンフィールド銃を大量に購入しました。この銃は、アメリカの南北戦争で使用されたものが払い下げられ、1868（慶応4）年討幕派と旧幕府軍による鳥羽・伏見の戦い（戊辰戦争）で長州藩が使用し、戦況を有利に導きました。一方、これより前の1860年（万延元）アメリカから幕府にミニエールド銃の一種であるスプリングフィールド銃が贈られ、幕府はこれをモデルとして、試み、186 1（文久元）年に湯島の鉄砲製作所でライフル銃等の生産を行いました。しかし、エンフィールド銃の方が、命中率の高さや正確さで優っていました。さらに、戊辰戦争では、長州藩はエンフィールド銃に加え、スナイドル銃を使用し、戦況を有利に導きました。スナイドル銃は、後方から弾を装填する後装式で、装填時間が短い上、連発が可能なものもある新式銃です。銃の性能をはじめとする軍備の如何が、戦いの勝敗に大きく影響していました。

新政府は、1872（明治5）年に鉄砲取締規則を制定し、猟銃を免許制にし、軍用銃として所持銃、農兵として貸与された拝借銃とに規定しました。江戸時代から続いていた農兵隊は、新政府によって明治2年に廃止されましたが、治安の維持として自衛のために、ゲベール銃の他に国産のミニエ銃が貸与されたようです。

本例は、1864年から翌年（元治元年～慶応元年）にかけて幕府の鉄砲製作所で製作されたスプリングフィールド銃で、江川代官所からの拝借銃であり、現在まで残されている国産の洋式銃では、数少ないもののひとつです（東京大学史料編纂所教授保谷徹氏ご教示）。当時の日本の鉄砲製作技術を知ることができるだけでなく、江戸時代の終わり、幕末の激動の歴史を伝える貴重な文化財として、平成13年に指定されました。

文化財保護審議会委員　都築恵美子

◆社会教育課　042（438）4079

教育委員会報告

【第6回定例会・6月22日】

〈選　挙〉
- ○西東京市教育委員会委員長職務代理者の指定について

〈可　決〉
- ○西東京市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- ○西東京市社会教育委員の委嘱及び任命について
- ○西東京市文化財保護審議会委員の委嘱について
- ○報告事案　2件

【第3回臨時会・7月1日】

〈可決・承認〉
- ○西東京市教育委員会教育長の任命について
- ○西東京市教育委員会の職員の人事についての専決処分について

【第7回定例会・7月23日】

〈可　決〉
- ○西東京市公立学校職員の処分の内申について
- ○西東京市奨学生選考委員会委員の任命について
- ○平成26年度使用西東京市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について

〈協議事項〉
- ○2学期制について
- ○報告事案　9件

【第8回定例会・8月20日】

〈可決・承認〉
- ○2学期制の今後の方針について
- ○平成25年度教育関係補正予算について（申出）の専決処分について
- ○西東京市公立学校職員の処分の内申について
- ○平成25年度西東京市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成24年度分）について
- ○西東京市立学校給食運営審議会委員の委嘱及び任命について
- ○報告事案　2件

【第9回定例会・9月21日】

〈可　決〉
- ○西東京市教育委員会の教育目標について
- ○報告事案　5件

◆教育企画課　042（438）4070

教育委員会の点検・評価報告

西東京市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の事務事業について点検及び評価を行い、報告書を作成しました。平成24年度における主な事務事業10項目については、概ね目標を達成できました。ただし、「学校施設適正規模・適正配置の検討」等、平成24年度で完結することが難しい大きな課題については、継続して取り組んでまいります。

また、「西東京市教育計画（計画期間：平成21年度～平成25年度）」に基づく事務事業については、ほとんどの項目において進展を見ることができました。

これまで以上に充実した本市の教育を実現できるよう、引き続き様々な取組を進めてまいります。

報告書は、市ホームページや市役所情報公開コーナーでご覧ください。

◆教育企画課　042（438）4070

毎月開催される教育委員会定例会を傍聴することができます。日時・会場については、広報西東京・市ホームページでお知らせしています。